



きつねのгон太

と

たぬきのぽん太



それに、

うさぎのような

ひよこのひい子

と



くろぶたのとん太

もいるよ

を ご覧になってもらう前に、  
よかったら、読んで見てくださいな。

# 赤いきつねと緑のたぬきと、

「赤いきつね」と「緑のたぬき」、  
どっちが好きかだって、

う～ん

そんなの決まってるやん。

「赤いきつね」かなあ、

「きつね」は うどんで、「たぬき」は そばでしょ、  
だったら、うどんが…、

でも…

うう～ん、 迷っちゃうね。

いっそうのこと、

**「赤いたぬき」** って、ないのかなあ



じゃん じゃ じゃん じゃん じゃん

なんと、「赤いたぬき」だよ。

えっ、

見た感じ、「赤いきつね」と変わらないだって、  
よく見ると、「おあげさん」じゃなくて、「かきあげ」でしょ。

なに？

「おあげさん」が、わからないって…、

大阪では、「サツマイモ」のことを「おイモさん」といって、  
「油揚げ」のことを「お揚げさん」と呼ぶんだよ。

「飴」のことを「あめちゃん」と呼ぶのといっしょだよ。

それじゃ、「緑のきつね」は、ないのか？ だって、  
「緑のきつね」は、あまり おいしそうじゃないって…、  
「たぬき」より、「きつね」のほうが、おいしそうだって、  
そうなんだ、あなたは、どっち!? と聞いたところ

「赤いきつね」と答えた人が多かったんだよ。 そんなこと、どうでもいいってか？

それで、「もっと、ほかのもん」 ないのかだって、  
それが、あるんだなあ。



そして、なんと、なんと、  
「甘〜いきつね」や  
「紺のきつね」があるんだよ。



なに？  
もっと、他にもないかっだって、  
それじゃ、特別に教えよう。  
「黒い豚カレー」に、  
「碧いうさぎ」だよ。



なんで、「うさぎ」かだっって、そんなのわかるわけないじゃん。  
「うさぎ」と聞くと、「ふるさと」という歌を思い出してしまう。  
うさぎ、おいしい かのやま〜 こぶな、つりし かのかわ〜  
「おいしい」じゃなくて、「追いし」のまちがいだね。(ずう〜と、まちがえとったわ)

でも、「碧いうさぎ」より、  
やっぱり、「チキンラーメン」かな。



だって、  
「碧いうさぎ」って、よくわからないって、  
それに、  
「碧い」って、なんかややこしいってか？  
どうせなら、「蒼井優」の「蒼い」がいいって... それは、ごもつともです。  
あ～あ、なんで山ちゃんと結婚したんだろう？  
それは、さておき  
「きつね」や「たぬき」より、「ひよこ」のほうが かわいいもんね。  
あつ、  
でも、「うさぎ」も かわいいかなあ、「蒼いうさぎ」だったらね。

いっそのこと、  
「うさぎみみたいなひよこ」が、ええねんけどなあ～

この絵本は、「月のうさぎ」のパロディです。

「月のうさぎ」のお話しは、

究極の自己犠牲の物語りです。

読んで見ると、すごく悲しい気持ちになります。

でも、なんとなく腑におちないことないですか？

この物語を読んだ子供たちが、どうとらえるか？

難しい内容だと思いませんか？

自己犠牲より、生きて役に立つことの方が尊いのです。

わが身を食べさせるために、侘びながら炎に飛込む...

そんなことが、

日本人には、国のために死んでいった神風特攻隊のような

自己犠牲とがダブるのではないのでしょうか？

子供たちには、自己犠牲ではない創像力を身につけてほしいのです。

豊かな想像力を身につけてほしいと思い、絵本にしてみました。

お子さんと一緒に、この話しについて考えてもらえれば幸いです。



きつねのごん太 と

たぬきのぽん太

そして、

うさぎのようなひよこのひい子 と

それに、

くろぶたのとん太 もいるよ。

よかったら、読んで見てくださいな。